

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ヒトツナ金沢黒田教室		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月16日		～ 令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 16日		～ 令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご家族との近い距離。お互いに気持ちを伝える事が難しくない関係。「安心」を感じることが出来る支援環境。「口にするのが難しい時」を事業所が察することが出来て、意識せずともそれが支援に繋がる日々。	職員誰と相談しても、職員みんながそのことについて考えて話し合う時間をとっている。どの職員でもいいので気軽にお話してください◎ 守秘義務もしっかり周知徹底。	令和8年4月～第2、4土曜のサービス提供を開始する。午前中だけであるが、ご家族やお子さまとゆっくり密な支援環境を提供する。
2	お子さまが「安心」のもと過ごすことが出来る時間。異年齢のなかでの集団で過ごす時間の提供。「失敗」しても大丈夫!!「もう一回、、、やってみようかな?」の気持ちが湧いてくる時間。	ご本人が安心して「失敗」を経験することが出来る環境を意識している。「もう一回やってみようかな、、、」の気持ちに子ども主体でなることが出来る、子ども同士の環境も意識している。前日の様子を職員で共有し、当日の支援への課題や進めかたも共有する。ご家族へ様子が伝わる	年齢が上がってきたので、今までしたことない経験や、学校で怒り得る行事の前の練習、等、ご家族や関連施設と関連した支援が出来たらいいな、と思っている。
3	生きていく上での必要な経験を、年齢に応じて職員で共有しながら経験することが出来る環境。	ご本人の成長段階であるか、それとも環境調整によって習得して得たものであるのかの、ご本人会議をしている。出てきた話はご家族との面談の議題に必ず挙げるようにしている。ご家族や学校・園・他事業所を巻き混んでの大きな支援を意識している。	年齢が上がってきたので、今までしたことない経験や、学校で怒り得る行事の前の練習、等、ご家族や関連施設と関連した支援が出来たらいいな、と思っている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	本社が遠い。関連施設がない。	関連施設がないので、ちょっとした情報の共有を気軽にしにくい。	市・県主催の研修等に積極的に参加。近くの事業所さんとの関係性作りを頑張っている。今後、一緒に取り組むことが出来るイベントなども考えたいところ。
2	必要な知育玩具が年齢に応じての購入が出来ない。が故に、手作りのものが多い。	気軽に購入することが難しい。	手作りでも素敵なものがあるので、そこを推し進めてゆきたい。ただし、本当に必要なものは購入してゆく。
3			